

し ょ う な ん め ー る

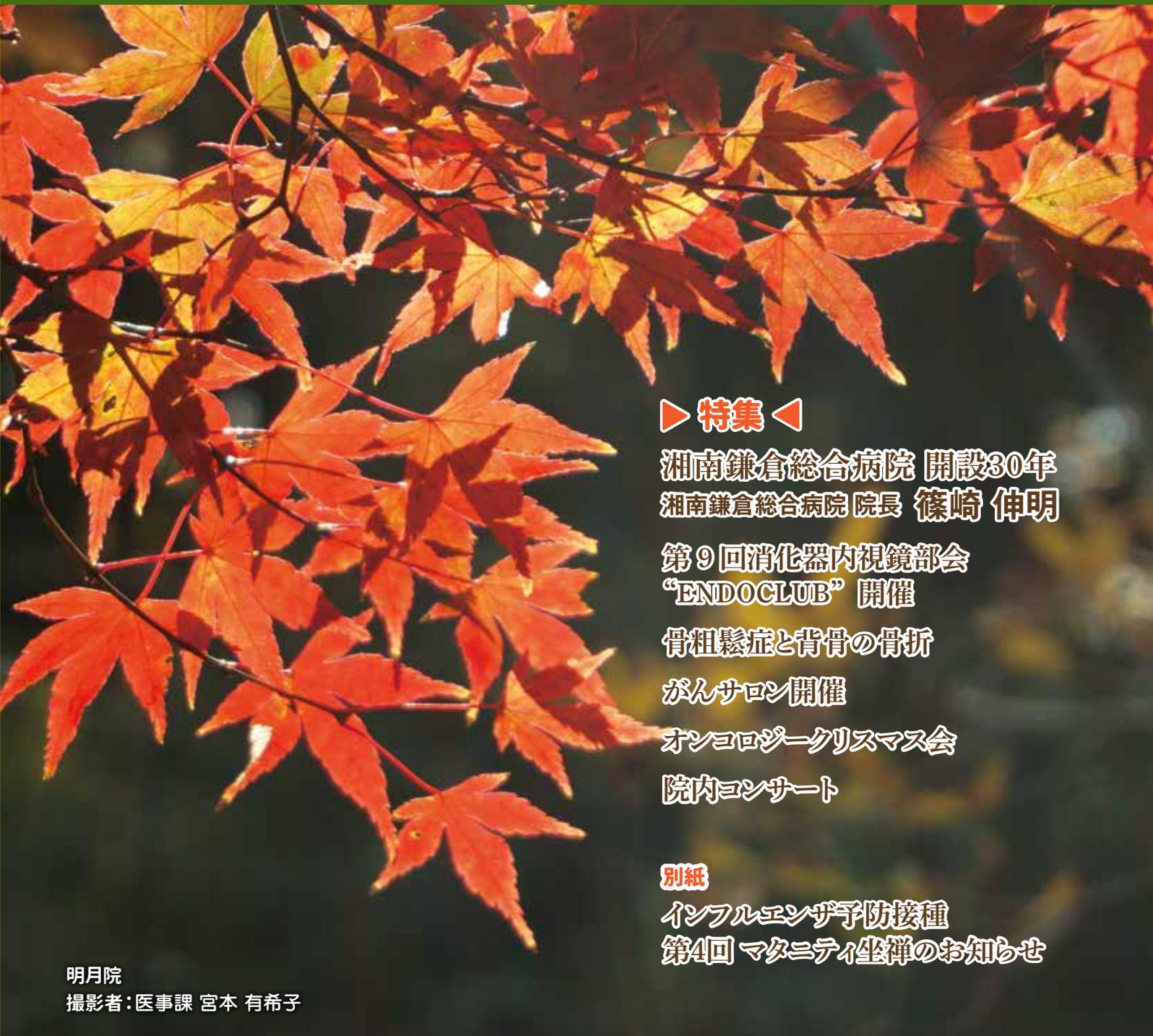


SHONAN

湘南鎌倉総合病院広報誌

Mail

Number 140
2018 November



▶ 特集 ◀

湘南鎌倉総合病院 開設30年
湘南鎌倉総合病院 院長 篠崎 伸明

第9回消化器内視鏡部会
“ENDOCLUB” 開催

骨粗鬆症と背骨の骨折

がんサロン開催

オンコロジークリスマス会

院内コンサート

別紙

インフルエンザ予防接種

第4回 マタニティ坐禅のお知らせ

明月院

撮影者：医事課 宮本 有希子

次の30年を見据えて

30th Anniversary

Shonan Kamakura General Hospital

地域住民・患者さんの 一番そばにいる病院として

1988年11月、湘南鎌倉病院（現・湘南鎌倉総合病院）が開設され、今年で30年が経ちました。私は昨年からは院長職を務めておりますが、開院当初から約10年当院の立ち上げにかかわってまいりました。当院は鎌倉市民の熱い思いによってできた病院です。市民病院の無い鎌倉市において、10日間で86,000人の新病院建設の要望書を頂き、368床の新病院が山崎の地に誕生しました。以来、地域の方々の健康と生活を守るために「救急を断らない」医療を愚直に実践してきました。手狭になった山崎の旧病院は、8年前の2010年9月に岡本へ新築移転となり現在では当院は、619床の高度急性期総合病院となりました。昨年の救急車の受け入れ件数は13,000台を超え、全国の救命救急センターで一番になりました。これも地域の皆様のご支援があったからこそと思います。開院当初から赴任していらした齋藤滋先生（現総長）は、心臓冠動脈の風船治療であるPTCA（経皮的冠動脈形成術）にいち早く取り組み、今もなお次々と新たな治療法に挑戦しておられます。1995年には国内初の日帰り手術センターを開設し、多くのメディア取材を受けました。NHKの朝7時のニュースでは2回も生放送で取り上げられたほどです。現在、日帰り手術は年間5,000件に上り、当院の手術件数の約半数を占めております。

救急医療から始まった当院は、がん治療にも力を入れ始め、現在では再生医療でも実績を上げています。最近では、総合入院体制加算2、DPC特定病院群、年間約23,000人以上の退院患者を出しており、平均在院日数は9日台、手術件数は年間1万件以上、救急車の受け入れ件数は13,000台、新規がん登録数は年間2,100件を超えるようになりました。高齢化率が30%を超す鎌倉市において市内の多くの医療機関、介護

施設と連携をとり、当院は高度急性期医療を担っています。

診療圏は逗葉地区から湘南東部医療圏、横浜西部医療圏と広域に及んでおり、3次救急においてはさらに広域の医療圏からドクターヘリの受け入れも行ってまいります。また、最近ではIT技術、さらにAIの導入に向け、当院の臨床情報などのビッグデータに対し、多くの団体から協力依頼が来ています。現在、社会貢献として、医薬品安全のために厚労省のPMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）のMID-NET®※プロジェクトに200万件の臨床データの提供に協力しています。当院は基礎研究から臨床現場への橋渡し研究（トランスレーショ



旧病院 日帰り手術センター

ナルリサーチ）に関わることが期待されています。臨床試験も盛んに行われており、当院で現在行っている臨床研究は133本、臨床治験は50件あり、外部審査員によるIRB（治験審査委員会）、倫理委員会にて審査が行われており、今年の4月に、医療法人沖繩徳洲会が民間では初めての認定臨床研究審査委員会の設置を認められました。2年後に当院に完成する予定

の先端医療センターにおいては早期探索臨床試験が行える施設も備えています。臨床側のニーズが十分に拾い上げられなかった現状もあった中で、この度、武田薬品工業の湘南ヘルスイノベーションパークとの連携で当院はステークホルダー（利害関係者）として、創薬のみならず様々な分野でベンチャー企業と協力してイノベーション（革新）を共同発信していきます。当院は常に、医療サービスとしての価値創造（バリュー・クリエーション）に取り組んでおり、新しくしていくヒントを外部にもらうことが多くあります。

地域住民・患者さんの一番そばにいる病院として、患者さんのニーズ、医療者側のニーズを発信し、これからも患者中心の医療を展開していきたいと考えております。人生100年の時代といわれる中、高齢化が進み、健康な時間を長く生きる必要性も増してきています。また、神奈川県掲げる未病に対しても人間ドックを通じて取り組みを開始しています。近年救急患者さんの中には、認知症をもった患者さんも増加してきており、高度医療だけでは解決しない現実も感じつつあります。当院は徳洲会の旗艦病院として、これからも徳洲会の原点である離島へき地医療を支えるとともに、様々なイノベーションを発信しリーディング病院としての自覚を持たなくてはなりません。今年、鎌倉市医師会に、神奈川県病院協会にも入会し、当院の開院30周年に花を添えることができました。これからも、地域の皆様のご支援、ご鞭撻を頂きながら、当院の次の30年を

さらに発展させていきたいと考えております。職員を代表して、よろしく願い申し上げます。

※ MID-NET® は、国の事業で構築されたデータベースシステムで、国内のいくつかの医療機関が保有する電子カルテやレセプト（保険診療の請求明細書）などの電子診療情報をデータベース化して、それらを解析するためのシステムです。MID-NET® によって副作用を直接把握・評価することなどができ、医薬品の安全対策のさらなる質の向上が期待されます。

医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 院長 篠崎 伸明

- 1980年 千葉大学医学部卒業
茅ヶ崎徳洲会総合病院研修医
- 1985年 茅ヶ崎徳洲会総合病院外科チーフレジデント
- 1988年 湘南鎌倉総合病院外科部長
- 1995年 湘南鎌倉総合病院日帰り手術センター長兼務
- 1998年 松原徳洲会病院副院長
- 1999年 松原徳洲会病院院長
- 2005年 湘南厚木病院院長
- 2014年 湘南藤沢徳洲会病院院長
- 2017年 湘南鎌倉総合病院院長
- 外科学会指導医、透析療法学会専門医、消化器外科学会認定医
救急医学会専門医、医療マネジメント学会評議員
クリニカルバス学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員
短期滞在手術研究会世話人



旧病院外観



新病院外観



【当院の沿革】

1988年 11月 湘南鎌倉病院 病院開設	2009年 10月 ホスピレート(働きやすい病院評価)認定	2013年 3月 JMIP(Japan Medical Service-Accreditation for International Patients) 認証取得
1991年 1月 湘南鎌倉病院 病床数432床	2010年 2月 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院へ変更	2013年 4月 救命救急センター指定
1994年 3月 湘南鎌倉総合病院へ変更	2010年 4月 セルプロセッシングセンター(再生医療)開設	2013年 4月 精神科、脊椎脊髄外科 標榜
1995年 6月 日帰り手術開始(3床)	2010年 9月 新築移転	2013年 8月 外傷センター開設
1995年 12月 医療法人社団愛心会 湘南鎌倉総合病院へ変更	2010年 9月 IVRセンター開設	2013年 8月 JCI(Joint Commission International) 再認証取得(救命救急センター部門)
1996年 4月 臨床研修指定病院 指定	2010年 11月 人工膝関節センター開設	2014年 4月 神奈川県災害協力病院指定
1996年 10月 日帰り手術センター開設(11床)	2011年 3月 なかよし保育園移転(山崎より岡本へ)	2014年 4月 構造設備使用許可(病床数619床)45床増床
1999年 1月 日帰り手術センター拡大(17床)	2011年 8月 睡眠時無呼吸症候群外来 開始	2014年 11月 15階病棟(43床)オープン(開棟)
2002年 10月 病院機能評価(Ver.3)取得	2011年 10月 看護配置基準7対1取得	2015年 3月 神奈川DMAT-L指定
2003年 2月 日帰り手術センター拡大(19床)	2012年 4月 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診実施機関指定	2015年 4月 神奈川県がん診療連携指定病院
2004年 1月 電子カルテ(KJC-web)システム導入稼働	2012年 4月 巡回健診事業 開始	2015年 4月 地下手術室(3室)オープン
2006年 5月 湘南鎌倉総合病院 新館開設(110床増床)	2012年 4月 構造設備使用許可(病床数574床)32床増床	2015年 5月 科学研究費補助金取扱い研究機関指定
2006年 6月 湘南鎌倉総合病院 病床数542床	2012年 4月 TV-X線装置設置(内視鏡センター)	2015年 8月 特定認定再生医療等委員会認定
2006年 7月 DPC対象病院 指定	2012年 4月 ICU(特別集中治療室)8床増床(認可)	2015年 10月 JCI(Joint Commission International) 再認証取得
2007年 3月 地域包括支援センター湘南鎌倉開設	2012年 6月 心臓リハビリテーション室開始	2016年 3月 JMIP(Japan Medical Service Accreditation for International Patients) 再認証取得
2007年 4月 治験センター(未来医療研究所提携)開設	2012年 8月 夜間看護配置(12:1)申請	2016年 10月 病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定
2007年 11月 病院機能評価(Ver.5)取得	2012年 10月 新生児室(NICU)6床増床(許可)	2018年 4月 湘南鎌倉先端医療センター開設
2008年 7月 オンコロジーセンター開設	2012年 10月 日本医療機関機能評価機構 Ver.6取得	2018年 4月 臨床研究審査委員会認定
	2012年 10月 JCI(Joint Commission-International) 認証取得	
	2013年 2月 乳腺外科外来 開始	
	2013年 3月 臨床心理室 開始(部署として開設)	

第9回消化器内視鏡部会“ENDOCLUB”開催

 **TOKUSHUKAI**
ENDOCLUB
in SHONAN KAMAKURA



徳洲会グループでは全国各地に病院がありその多くで消化器内視鏡検査や治療を行っております。

それぞれの知識や経験をグループで共有し、全体の内視鏡レベルの底上げを図ることを目的に徳洲会消化器内視鏡部会 (ENDOCLUB) を2010年に設立しました。これまで年1回の ENDOCLUB 学術集会を行ってまいりましたが、本年は当院消化器病センター小泉一也部長が代表世話人となり、7月28日に第9回となる学術集会を鎌倉にて開催しました。当日は台風によるあいにくの天候でしたが、本内視鏡部会の理念に賛同する医師・看護師・内視鏡技師などが全国から約60人参加し、それぞれの施設の教育的な事例などを中心に活発な討論が行なわれました。

当院からも増田作栄医長がワークショップにて内視鏡的逆行性膵胆道造影法 (ERCP) の手技について報告したのを筆頭に、成志弦医師、田澤智彦医師、西野敬祥医師がそれぞれ発表を行ないましたが、良い治療の啓蒙のみならず、自分たちの知識を整理する機会となり、今後の診療に役立つ有意義な時間となりました。また特別講演として、消化器内視鏡診療におけるAIの活用の臨床研究を行っている多田智裕AIメディカルサービス代表取締役会長にお越しいただき、今後の展望について学びました。最後に賀古眞消化器病センター長の閉会の挨拶をもって、会は盛況のうちに終了しました。



グループ全体で
内視鏡レベルの
底上げを図る。



第9回消化器内視鏡部会 集合写真 前列中央：消化器病センター 賀古 眞 センター長
前列左から3番目：消化器病センター 小泉 一也 部長（代表世話人）

当院における先進的試み 新型デジタル経口膵管胆道鏡 「スパイグラスDS」

当院では地域の基幹病院として救急医療のみならず、先進的な内視鏡技術の導入・提供も行っております。その一つとして新型デジタル経口膵管胆道鏡「スパイグラスDS」（下図）があります。細径の高性能デジタル内視鏡であり、今まで診断・治療が困難であった膵・胆管病変に対して、膵管内または胆管内に直接挿入することで、病変の正確な確認と処置を容易に行なうことができるようになりました。

2016年に全国に先駆けて導入しましたが、現在でも県内では数施設に設置されるにとどまっているなど知見が十分ではありませんので、当院における経験を学会やセミナー等で多数報告しております。新たな機器や技術により、従来困難であったことが容易かつ安全に可能となる場合があるため、当院では患者さんに利益をもたらすと判断されるものは積極的に導入しております。またその経験を外部へ発信することで、多くの患者さんが低侵襲な治療を受けられるきっかけになれば良いと思っております。一方で単に新しいものを追い求めるだけでなく、その根幹にある基本的な知識と技術を磨くことを常に考え、研鑽を続けていきたいと思っております。



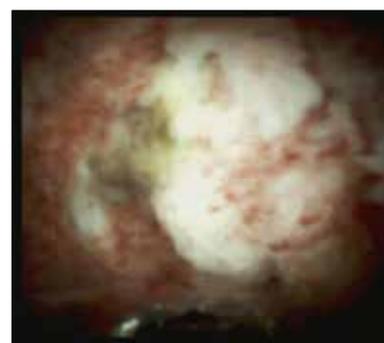
症例報告や講演などを通じ活発な議論を展開することで徳洲会グループ内の連携を強化していく



新型デジタル経口膵管胆道鏡「スパイグラスDS」



正常胆管



胆管がん



骨粗鬆症と背骨の骨折

(椎体骨折)について

「骨粗鬆症」。尻餅をついただけ、あるいはちょっとした日常生活動作で背骨や太ももを骨折してしまう、困った状態です。



脳神経外科
渡辺 剛史 部長

■当院の脳神経外科

脳のみならず、脊髄・末梢神経も含んだ神経系すべてに関わる疾患の外科的治療を診療対象としています。

※予約なしで来院された場合は、予約された方の診察終了後から順番にご案内する形となりますのでご了承ください。待ち時間が気になる方は電話予約されてからの受診をおすすめいたします。

■電話予約受付時間

12:00 ~ 15:30 [月~土曜日 (水・祝日を除く)]
(午前中は外来窓口対応のため電話が繋がりにくくなっております。)

☎0467-46-1717(代表)

はじめに

この「骨粗鬆症」は、ホルモンの関係で特に女性に要注意です。

更年期を過ぎたあたりから急増し、60代女性の20%、80代女性の70% (男性は5%、15%前後)の方が骨粗鬆症になってしまいます。そして、背骨の骨折(椎体骨折)を見てみると、なんと80歳になる前までに女性は5人に1人、男性は10人に1人、椎体骨折してしまうのです。今回は、骨粗鬆症と、それによる椎体骨折についてお話しします。

「骨粗鬆症」とは?

骨の強さは、「骨密度」(骨の量:カルシウム量)と「骨質」(骨の質:コラーゲンの質)の2つで決まります。「骨密度」は20歳をピークにして40歳台前半まで維持され、以後は低下していきます。これまで、「骨密度」が骨粗鬆症の主な原因と考えられていましたが、近年、生活習慣病の影響が重要視されています。糖尿病や慢性の腎臓病が「骨質」を弱くすることが分かったのです。若い時の運動で高い「骨密度」を獲得し、「骨質」を弱くする病気にならない努力が大切、ということです。動脈硬化や脂質異常も骨粗鬆症に関係することが言われており、よく耳にする、「食生活に注意して、運動もしましょう」の生活習慣病にならない努力が骨粗鬆症にもあてはまるのです。

「骨粗鬆症」の検査

「骨密度」を専用のレントゲンや、超音波検査機器で測定します。

40歳以降の女性を対象に5年刻みに骨密度検診を行う自治体が増えており、お住まいの保健センターに問い合わせ検診で受けてみる、あるいは、人間ドックで骨密度検査を含むコースを受けるとよいです。当院でも、人間ドックのオプションで骨密度検査を選択することができます。

また、既に椎体骨折や太ももの骨折をしている方は、保険で検査ができます。(測定機器が置いてあるかどうかは、病院やクリニックにお問い合わせください)

■骨粗鬆症の治療や予防など

骨粗鬆症の治療は薬です。もちろん、食事や運動療法を継続していくことも大切です。骨粗鬆症と診断されても自覚症状はないため、薬を処方されても半分くらいの人は途中でやめてしまうと言われています。そのため治療を根気強く継続していくことが重要です。食事は、骨の材料になるカルシウム、その吸収をよくし、骨の形成に役立つビタミンD、ビタミンKを摂るようにし、タバコやアルコール、スナック菓子やインスタント食品、コーヒーなどカフェインの多飲を避けるようにすることが肝要です。運動は、骨を刺激して、骨の形成を促進する作用があります。ご高齢の方でも、散歩を日課にしたり、転ばないようにテーブルに手を置ける状態にして、椅子に座った状態からのスクワットをしたり、運動する機会をつくりましょう。また、転ばないようにする有効な訓練として、片足立ち運動がおすすめです。これも日課にしてみましょう。(これも転びにくい環境の下で行ってください) 続いて、薬の話に移りますが、その前に骨はどうやって維持されているかを少し知る必要があります。骨は生涯を通

して、代謝回転している臓器で、破骨細胞という細胞が古い骨を溶かし、骨芽細胞という細胞が新しい骨を作っていきます。

これらが化学的制御により調節され、たえず“溶かしては作る”を繰り返しているのです。全身の骨は、3年くらいで全くの新しい骨に入れ替わると言われています。しかし、年をとると、骨を溶かすスピードは速まり、作るスピードは遅くなっていくので、徐々に骨が弱くなってしまいます。そこでこれらを調節する薬が有効になります。一つは、骨吸収を抑える薬(骨吸収がゆるやかになると、新しい骨の形成が追いつく)です。毎日、あるいは月に一度の飲み薬から、年に一度の注射の薬まで様々な種類があります。また、もう一つに骨の形成を促進する薬があります。中でもテリパラチドという薬は、骨折の危険度が高い方に用いられますが、毎日自己注射するタイプのもので、週に一度医療機関で注射してもらうタイプのものがあります。患者さん毎にどのタイプが適している、しかも継続できるかを選択する必要があります。まずは、主治医に相談してみてください。

骨の強化に必要なのは

食事



●カルシウム(骨を作る栄養素)

牛乳、チーズなど乳製品、小魚、大豆製品、小松菜など

●ビタミンD(カルシウムの吸収をよくする)

サケ、サンマ、シイタケ、きくらげ、卵など



●ビタミンK(骨の形成を促す)

納豆、ホウレンソウ、小松菜、ニラ、ブロッコリーなど



●散歩



●スクワット



●片足立ち

運動

※安全な場所での

■背骨の骨折(椎体骨折)について

椎体骨折を起こしてしまうと、多くの場合、次のようになります。(※骨折の程度次第で症状は軽くも重くもなります) 最初の1週間は背中が痛くて起き上がれない、または寝たり起きたりするのにも相当難儀する。次の1週間は寝起き時はかなり痛い、一度起きてしまえば、短時間は立ったり座ったりできる。その後、徐々に痛みが減っていき、1ヶ月もすると痛い時はあるが、大分楽になり、身の回りのことはできるようになる。このようにして、7~8割の方は自然に骨がくっついて治ります。しかし、2割くらいの方は、うまく骨がくっつかないままの形でできあがってしまい、強い

痛みを引きずることになります。こうした場合は**バルーン椎体形成術**※がとても有効なことがあります。椎体に針を挿入し、風船で椎体を良い形に持ち上げ、そこにセメントを充填する治療法です。全身麻酔が必要になりますが、痛みに関しては即効性があります。もし、強い痛みが尾を引いている椎体骨折をお持ちでしたら、当科に相談にいらしてください。もしかしたらバルーン椎体形成術が有効な状態かもしれません。最後になりますが、何力所も骨折してつらい思いをされている方がたくさんいらっしゃいます。これを機に、日常生活から骨粗鬆症に注意してみましょう。

バルーン椎体形成術
椎体に針を入れ、風船を膨らませてできた空洞にセメントを流し込みます。20分程度でしっかり固まるので、即効性があります。



◀左：骨折して椎体が潰れ、この写真では示すことができませんが、口ばしのように動く状態になってしまっています。

右：バルーン椎体形成術をした後です。椎体の高さが大分戻り、割れた骨が動かなくなります。

▶骨折の状態が悪いと、バルーン椎体形成術では、セメントが漏れたり、セメントに負けて骨が割れる恐れがあり、右の写真のような大掛かりな手術が必要になります。骨粗鬆症の治療と適切な時期にバルーン椎体形成術を行うことが大切です。



がんサロン

がん体験者の語りの場です。
ふらっとお気軽にお越しください!

〈場所〉2F21番 オンコロジーセンター待合室
参加費無料・事前申込不要・自由参加

〈対象〉患者さんとそのご家族
〈定例〉第3土曜日(祝日除く)

11/17 土
14~16時

「がんに関係する色々な情報の探し方」
～病気のこと、生活のこと、仕事のこと～

〈最初の30分に〉がんサロン代表 武田裕子 によるレクチャー付

オンコロジーセンター主催 がんサロン拡大版

クリスマス講演会と演奏会

★ノーベル賞で話題の免疫チェックポイント阻害薬のお話
★ACP(アドバンスケアプランニング)納得のいく、がんとの
付き合い方を医療者と共に考えていきましょう!

12月15日 土 14:00~15:30 (開場13:30)

場所:別館3F 講堂 対象:がん患者さんとその家族

講演:オンコロジーセンター長 下山 ライ医師

がん薬物療法認定薬剤師 門谷 靖裕薬剤師

院内コンサート!

当院 1F エントランスにてコンサートを開催致します。音楽の溢れる空間、心温まるひとときをどうぞお楽しみください!

- 日 時:12月15日(土)14:30~15:00
- 出演:湘南白百合学園 管弦楽部
- 曲 目:そりすべり、クリスマスメドレー他

演奏曲目は変更になる場合がございます。お問い合わせ:院内コンサート実行委員会

医療法人 沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1

TEL 0467-46-1717(代表) FAX:0467-45-0190

ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>

(直通)健康管理センター:0467-44-1454 人工膝関節センター:0467-46-7172

しょうなんメール 編集・発行:湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

SHONAN KAMAKURA

GENERAL HOSPITAL





平成30年度 インフルエンザ予防接種のお知らせ

ワクチンの数に限りがございますので、**診療予約と併せてあらかじめご予約**ください。
また、ご予約につきましては、ご受診の診療科に予約をお問い合わせください。

☎ 0467-46-1717(代表) 【月曜日～土曜日(祝日を除く) 8:30～17:00】

**予 約
受付期間**

▶ 平成30年 **10月15日(月)～12月28日(金)**

実施期間

▶ 平成30年 **11月1日(木)～平成31年1月31日(木)**まで
接種いたします。

料 金

▶ 任意接種 **5,400円(税込)**
▶ (公費) 鎌倉市・逗子市・横須賀市・葉山町に住民登録のある、満65歳以上の方が対象です。



市から送付された
●免除券の無い方…市町村によって負担が変わります
●免除券がある方…無料
(公費が使用できる期間は平成31年1月31日まで)



湘南かまくらクリニック においても、ワクチン接種予約を承っております。

住 所 神奈川県鎌倉市山崎 1202-1
電 話 0467-43-1717
時 間 8:30～17:00
予約方法 窓口・電話・FAX・メール
(ホームページ)

料 金：**3,780円(税込)**
対 象：**生後6ヶ月以上の方**
※旧湘南鎌倉総合病院裏手にあるクリニックです



**4th Maternity
Zazen**

自分と向き合う時間、
作りませんか？
お産に備えて目まぐるしく
変化する自分。
心に一時の静寂を。

**第
4
回**

マタニティ坐禅開催します!!

日 時：**12月17日(月) 10:00～13:30**
開 場：北鎌倉 建長寺
対 象：体調の良い妊婦さん
予 約：湘南鎌倉総合病院 お産センター 0467-46-1717 (代表番号)